

科 目 名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位	
特別講義：Special Lectures		4S	1	50分×30回	必修	講義・通年	○	
教 員 名		外部講師：Visiting Lecturers						
授 業 概 要	企業の工業技術者等を講師として招聘し、先端技術の現状や技術者としての倫理観、高専卒業生の社会的役割への要望などの講演を聴く。							
	到達目標			評価方法				
1) 技術者としての社会的役割に対する自覚を養うことができる。 2) 技術者としての倫理観を養うことができる。 3) 先端技術の一端に触れることにより、優れた技術者になるためのモチベーションを高めることができる。			講演ごとに提出するレポート(100%)によって評価する。 ただし、1テーマでもレポートが未提出の場合は評価の対象としない。					
学習・教育目標		(D) ①	JABEE基準1(2)		(d)-(1)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	講演会を8回程度行う。今年度の講演内容は未定である。 昨年度の講演題目は以下のとおりである。 (講義は前後期にわたって適宜分散した日程で実施する)				第16			
	第1	知的財産制度(特に特許制度)の概要			第17			
	第2	環境計測の現状			第18			
	第3	電子部品実装の実際			第19			
	第4	組込システムの開発			第20			
	第5	制御と機械の融合と実社会への貢献			第21			
	第6	高専エンジニアの可能性 -私の起業体験から-			第22			
	第7	メカトロニクス技術とその応用			第23			
	第8	企業が求める人材像について			第24			
	第11				第25			
	第12				第26			
	第13				第27			
	第14				第28			
	第15				第29			
第30				第30				
自学自習の内容	レポート課題を課す。							
関連科目								
教科書	使用しない							
参考書	本科で使用した専門科目の教科書							
授業評価・理解度	期末に授業評価アンケートを行う。							
副担当教員	制御情報工学科長							
備考								